

上司向け キャリア面談準備研修

【目的】

キャリア面談の注意点確認と実施準備

【カリキュラム】

1. キャリア面談の心構え

1. キャリア面談の目的と効果(ワーク)

2. キャリア面談実施時の注意点

①キャリアデザインの体系と上司の意識ポイント ②正解はない ③変化する

3. キャリア面談、キャリアデザインシートの活用法

①面談実施前の事前準備の大切さ ②キャリアデザインシートのチェックポイント

③日常、育成との連携

2. キャリア面談準備

・スタンス、問いかけの有効活用

・トレーニング(ロールプレイング)

ケース1)自分とは価値感が異なる / キャリアシート記載内容がピンとこない場合

ケース2)キャリアシートへの記載内容が薄すぎる/多すぎる場合

ケース3)自社では実現できそうにないキャリアプランの場合

■ キャリアデザイン/キャリア面談

【キャリアデザイン】

「個人キャリア」「資格」「プライベート」「健康」などあらゆる面で、将来の自分の理想的な働き方や生き方を考え、その実現に向けてキャリアを主体的に設計していくこと

＜意義＞ →先を見据える事で

- ・今の仕事で何が役に立つか、何が必要かを見据える事ができる
 - ・
 - ・
- (自己認知・他人の支援)

＜どんな事を考える？＞

- ・職域をあげる(どこまで？)
 - ・
 - ・部門を横断してつなぐ
 - ・
 - ・
- ()
- ・職種をかえる(何に？可能なのか？)
 - ・
 - ・今ない知識・スキルを開発する
 - ・会社に残せるものを考える 等

【キャリア面談】

部下のキャリアデザインを確認し、
する場

1. キャリア面談の目的と効果

■ ワーク1:キャリア面談の実施意義について考える

1. キャリア面談の目的/効果(何のために/何につながる、どうなる)

<会社・上司>

【目的】

【効果】

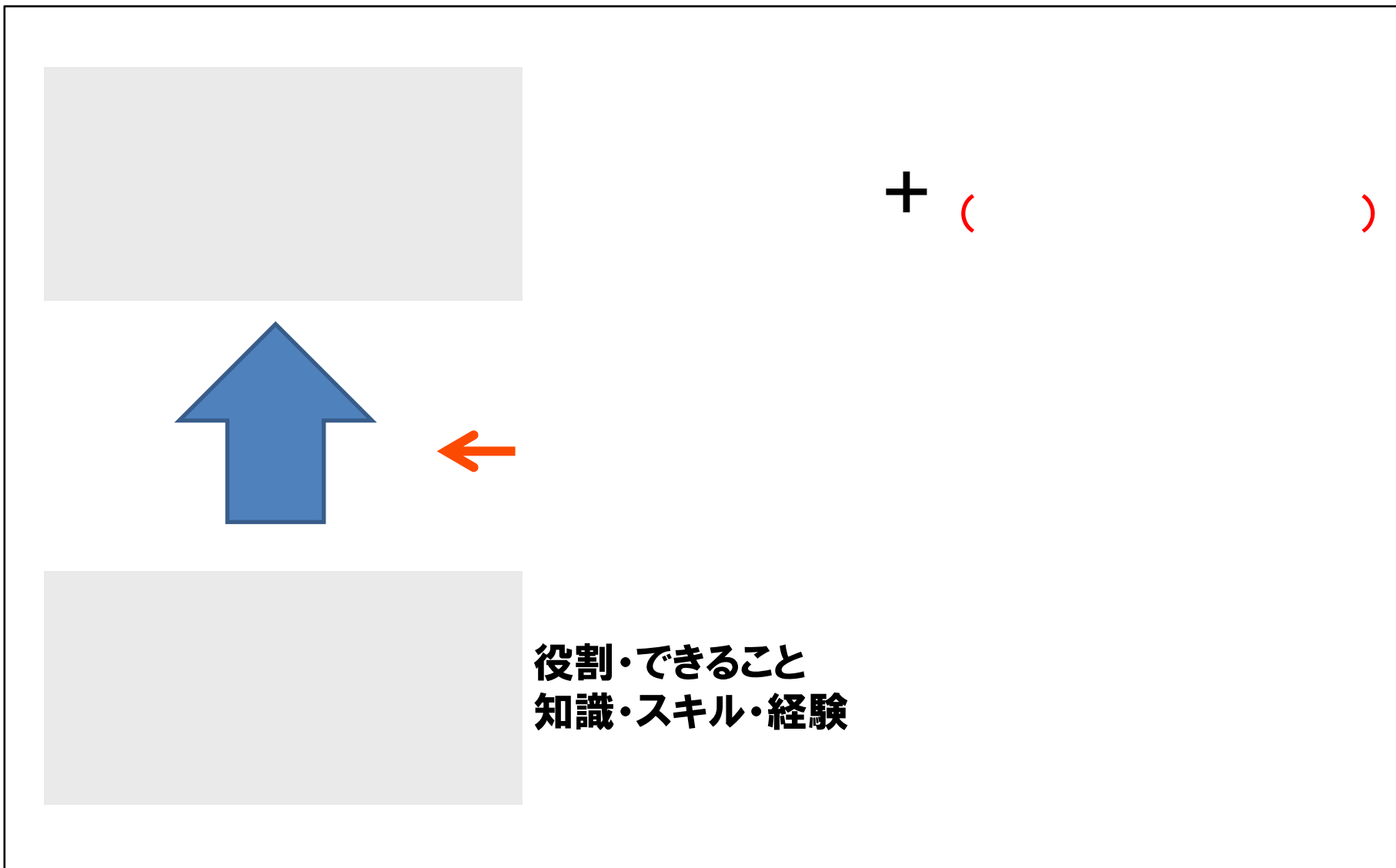
<部下>

【目的】

【効果】

2. キャリア面談実施時の注意点

■ ①キャリアデザインの体系と上司の意識ポイント



2. キャリア面談実施時の注意点

■ ②正解はない / ③変化する

②正解はない

1. $\quad = \quad$ を理解する
2. $\quad$ に注意

③変化する

＜キャリアデザインの変化につながる要素＞

- ・個人：
- ・プライベート：
- ・職場環境
- ・社会環境

3. キャリア面談、キャリアシートの活用法

■ ワーク2:①面談前の準備の大切さ:社内のキャリアルート、職務理解

1. 部署(職務)の魅力(やりがいを感じること、面白み)

2. 部署(職務)のつらいこと、苦しいこと

3.

4.

3. キャリア面談、キャリアシートの活用法

■ ③日常、育成との連携

連携1. 日常の指導、声かけに活用

- ・ **があった時**
- ・ **した時**
- ・ **時(時)**

→ 部下からの信頼感、モチベーション向上

連携2. 評価のタイミングで活用

- ・評価面談終了後に、キャリアシートの進捗状況確認

→

■ 問いかけの有効活用

1. 目指すキャリアが漠然としている人に

2. 今後身に着ける能力・スキル・資格、取り組みなどが漠然としている人に

■ トレーニング: キャリア面談を体感して、イメージ付けを行う

ロールプレイング目的: 困りそうなケースを体感することでイメージをつかむ
自分が注意すべきポイントを認識する

実施内容: ケース1～3の中で一つ選択

<実施フロー>

1人が上司役、1人が部下役となり、実施

1. ペアでそれぞれが取り組みたい事例を共有(別でも可)
2. 事前準備(自身が上司としてどう話を展開するか準備)
3. 一回目実践 & 振り返り
4. 二回目実践 & 振り返り

■ ワーク3:これまでの学びをふまえて、対応を考え、試す

【上司役】

①実施した感想、気付き

②

③

【部下役】

③良かった、納得できた点

④

【メモ】

■ トレーニング

ケース1)自分とは価値感が異なる / キャリアシート記載内容がピンとこない場合

例1)部下のキャリアシートを確認すると、

と思う。